

USER PROFILE

50代 男性
165cm/65kg
明るく人当たりの良い性格
補装具制度による支給あり

脳性麻痺(黄疸後遺症)
アテトーゼ型
四肢麻痺(上肢に強い麻痺)

上肢・手指	右手でのみタイピング可能
体幹	軽度の側湾
移動	自宅内 自立 屋外 WHILLまたは歩行(短距離)
操作	コントローラー(ジョイスティック)、 アームレスト位置を変更して対応
シーティング	WHILL標準仕様で対応。

補装具(以前)
以前は使用していなかった

補装具(現在)
WHILL Model A(外出用)

家屋情報
マンションの1Fに一人暮らし。WHILLは電子ロックをかけ玄関先に保管。充電は外に置いたままヘルパーさんにコネクターをさしてもらっている。

生活状況
仕事:6回/週(水曜と土曜は半日)、在宅リハビリ:2回/週、飲み会等の外出:不定期
通勤時にWHILLを利用している。以前は職場までの移動だけだったが、職場の計らいもあり、今では勤務中もWHILLに乗っている。

介護保険/障害者手帳
身体障害者手帳 1級



WHILL利用の効果

通勤時間が短くなって自分のことに使える時間が増えました

WHILL導入後の変化

BEFORE

WHILL購入以前の通勤時間 > 片道 30分程度

AFTER

WHILL購入以降の通勤時間 > 片道 10分程度

毎日歩いて通う職場への道のりを辛く感じていたのが、WHILLに乗ってからは楽になって余裕ができました

USER'S VOICE

元々足腰がそこまで悪くなかった私は、車いすを使った生活をしていませんでした。

ただ、加齢も加わり、ある頃から腰に痛みが走るようになり、日々の通勤時も休み休み歩かないといけなくなりました。

「この状態では車いすも検討しなくてはいけないかも。でも車いすに乗るのは抵抗があるな。」

そんな風に思っていたある日、テレビ『夢の扉』で次世代車いすWHILLを見て、とても素晴らしいデザインの車いすだ。**自分が車いすを使うならこんなデザインのものを選びたい。**と思ったのを覚えています。

その後、WHILLが本当に製品化されてとても驚きました。しかも試乗してみると、走破性も凄い。すぐに購入を決めました。

WHILLがきて家を引っ越したため、仕事場までの距離はほんの少し遠くなりましたが、腰痛で休みながら**30分かけて歩いていた通勤時間は10分程度**になり、元気だった頃よりも通勤時間が短くなりました。またWHILLなら仕事場の中も、定期的に行く病院の中も、帰り道のコンビニでもそのまま入っていきます。**日々の仕事と生活が非常に楽になり、他のことができる時間が増えました。**

このお客様にとってのGood Points

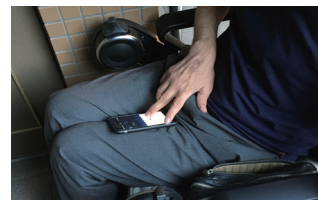
狭い道も自分で走れる機動性, iPhoneからの電子ロック, デザイン性



勤務先のスロープも難なく



屋内(勤務先)もWHILLで



iPhoneからの電子ロックで安心



遠出するときもWHILLに乗って